

能代河川国道事務所ニュース

〒016-0121 能代市臈渕字一本柳97-1
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/
TEL 0185-70-1001(代) FAX 0185-70-1118
E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

発行者：国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所
【支所・出張所】
森吉山ダム／二ツ井(河)／鷹巣(河)／
大館国道／能代国道維持

★定期的に事務所管内のニュースをお伝えします

今月号の話題

・所内業務報告会開催・道の駅防災勉強会・国道7号ふれあいロード連絡会

令和元年度所内業務報告会が開催されました！！

入賞者表彰式



審査員・聴講者



2月25日(火)に事務所内にて令和元年度所内業務報告会が開催されました。16人の職員が発表に立ち、河川や道路の整備・管理など各担当業務についての報告を行いました。業務報告会は職員が日常の工夫点、研究や調査の内容を紹介して業務成果を共有するとともに、事務や技術の能力向上を図ろうと毎年開催しています。[※詳細は次ページへ](#)

ふれあいロード・育苗作業



3月23日(月)に国道7号ふれあいロード連絡会が育苗作業を始め、会員らは和気あいあいと作業に取り組みました。6月下旬には植栽作業を行う予定です。

[※作業様子の詳細はこちら](#)

道の駅防災勉強会



2月20日(木)、秋田県北地区の「道の駅」を対象とし、防災機能強化に関する勉強会を開催しました。2020年から道の駅第3ステージの目指す姿の1つに「防災道の駅」が挙げられています。この勉強会はその姿を目指し、「防災機能強化」に関する情報提供、意見交換をすることが目的です。会議には各市町村の道の駅担当・防災担当の職員が出席し、「道の駅」の地防災機能強化へ向けた活発な質問が出されました。

[※道の駅第3ステージの詳細はこちら](#)

入賞者の発表感想

令和元年所内業務報告会入賞者

最優秀賞	東 洸成
優秀賞	加藤 太基
優秀賞	菅原 啓誠
特別賞	平野 繭子
特別賞	藤田 玲
オーディエンス賞	菅原 啓誠

秋田県北地区におけるインバウンド対応の取組

調査第二課 東 洸成

今年度は当事務所で実施した秋田県北地区におけるインバウンド対応の取組について幅広く紹介させていただきました。

国土交通省では2020年～2025年に「道の駅」の目指す姿の一つとして「世界ブランドの道の駅」を挙げています。この取組目標へ向け当事務所では道の駅・DMO・管内市町村と連携し、インバウンドの増加や受け入れ体勢向上のため意見交換会など様々な取組を行ってきました。

発表では広く浅くの紹介となってしまいましたが、道の駅が新たなステージを迎えようとしていることや事務所の取組を知っていただければ幸いです。



森吉山ダム地域貢献の取り組み

森吉山ダム出張所 加藤 太基

今回は、森吉山ダムが日常業務やイベントを通じてどのような地域との関わり方をしているのかを紹介させていただきました。

新しいことにイベントや広報を通じてどんどん新しいことに挑戦していくことが地域貢献につながる仕事です。来年度も新たな取り組みを通してダム周辺地域を盛り上げていきたいです。



道路パトロイドを導入した巡回について

大館国道出張所 菅原 啓誠

今回の発表では聴講者目線で考えて、どう話せばプレゼンに興味と理解を持って聞いてくれるか・・・という観点で資料をまとめ、発表させていただきました。

私自身、人にもものを説明するのが非常に苦手でしたので、今回オーディエンス賞を頂いたのは大変喜ばしく、今後業務を遂行する上で必要な能力を身につけることができました。また、優秀賞と二つ受賞出来たことについては大変驚きました。本当にもらってよかったのか・・・なんて悩んでいます。改めまして聴講していただいた皆様、ありがとうございました。



週休2日や余裕期間を考慮した工期設定について

工務第二課 藤田 玲

今回の発表内容は制度的な部分であり、昨今叫ばれている「働き方改革」にも大きく影響されるものでもあるため、この関係性をうまく表現できるよう資料の作成にあたっては留意しました。

また、発表資料の作成上、工事受注者の方から意見を聞く機会があり、国土交通省の制度に対して「どう考えているのか」や「期待しているのは何か」などの他、受注者側からの制度に体するメリット・デメリットを知る良い機会でした。

今回、発表までの間に得た知識を今後の業務に活かせるよう精進してまいります。



コミュニケーション技術の活用について

総務課 平野 繭子

日本人の約7割が「コミュニケーションを取ること」に苦手意識を持っている、という公的な調査結果があります。「コミュ力」を高めるのはハードルが高いと思われがちですが、「ちょっとした技術」の活用で、対立や誤解を最小限にしたり、信頼関係が深まったりできます。

今回は、身近に起こりそうな3つの「事例」を挙げてそれぞれの場面での「コミュニケーション技術」の活用を紹介しました。コミュニケーションの充実が業務意欲や業務効率の向上にも繋がります。今後の皆様の生活の参考となれば幸いです。



次回予告

- ダム施設安全利用点検
- 堤防徒歩巡視（出水期前）
- 特車取り締まり
- 高速隊との交通規制合同訓練
- 幹部職員新旧あいさつ

編集後記

今回は「所内業務報告会」「道の駅防災勉強会」「国道7号ふれあいロード連絡会」を記事に取り上げました。コロナウイルスの影響で日本全体が暗い雰囲気になっていますが、もうすぐ暖かい春が来ますので明るく元気に頑張りましょうー！

調査第二課